

新発田市 平成 30 年度 第 11 回定例記者会見

- 1 日 時 平成 31 年 2 月 4 日 (月) 午前 11 時 ~
- 2 場 所 ヨリネスしばた 501 会議室
- 3 内 容
 - 地域金融機関と空家等対策に関する協定を締結
 - 国際パラリンピック委員会公認教材を活用した教職員研修会
 - 「春 RUN 漫」しばたジョギング大会 in 加治川桜堤
 - 図書館でゆるり体操
 - ABODE 菅谷 里芋試食会
 - 新発田市 PR ムービー「おかえり」編完成披露試写会 & 交流会
 - 缶詰博士 黒川勇人講演会
 - チョコスタリカ in しばた
 - イクネスしばたこどもセンター子育て講座
 - 赤谷どんつき祭り
 - 赤谷どんつき祭り見学バスツアー
 - やろもち作り IN あかたにの家
 - 月岡温泉どんと祭り
 - しばたオイスターバー2019
 - しばたまちゼミ
 - まちづくりフェスタ
 - 働き方改革セミナー
 - 市立歴史図書館春季企画展「ハンコ・版画と印刷の歴史」
 - 元新潟県知事 平山征夫文化講演会
 - 落谷虹児の描く少女雑誌「令女界」展
 - 「春を呼ぶ公民館まつり」
 - めざせ 100 彩「健康づくりキャンペーン」
 - 新発田市明るい選挙推進「市民書初め大会」作品展
 - 千光寺 千手観音開扉

あいさつ

- 今日は 3 月末のような景色です。今年は、除雪費がかからずに良いという話題が様々な会合などで出されています。昨年が昨年でしたので、今年のように雪が少ないことは、市民の皆さんにとっても大変ありがたいのではないだろうかということで非常に喜んでいます。

- 1 月早々に県内の市長会の会議がありました。会議前に、他市の市長と雑談をしていたら、除雪費の話題になって、色々と昨年の苦労話をしていました。
- 昨年の除雪費について、他市の状況を色々と聞きましたが、除雪費が少ないということは、財布を預かる者としては、大変ありがたいと感じました。

それでは、会見項目を説明いたします。

最初に、「地域金融機関と空き家等対策に関する協定を締結」について

- 市内にある適切に管理されていない空き家等の問題について、地域金融機関と連携・協力して取り組んでいくため、協定を締結することとし、2 月 18 日（月）に締結式を開催することになりました。
- これは、空き家などを抱える所有者の問題解決に向けた支援を行うために、市が地域金融機関に働き掛けを行い、この度、協議が整ったことから、市内にある 8 つの金融機関と協定を締結することになったものです。
- 協定の内容としては、金融機関が空き家等の有効活用または修繕、除却、建て替えなどに関する金融商品の開発や提供のほか、空き家の適正管理に関する所有者への意識啓発などを行います。
- それに対して、市では、協定に基づき、所有者から空き家の管理などに関する相談を受けた場合は、地域金融機関の紹介や本協定に関する業務の広報に努めていきます。
- 市では、本協定に基づくもののほかに、空き家バンク事業など市が独自に行う取組と併せて、空き家問題の解決に向けた支援を行うことで、空き家の発生抑制や適切な維持管理につなげていきたいと考えています。

次に、「国際パラリンピック委員会公認教材を活用した教職員研修会」について

- 明日、2 月 5 日（火）に、市内小・中学校の教職員を対象に、国際パラリンピック委員会の公認教材である「I ^{アイム} ^{ボッシブル} POSSIBLE」を活用した研修会を行います。

- この教材は、国際パラリンピック委員会が開発したもので、多様性を認めることや、あらゆる人が参画できる社会を構築することを、パラリンピックを題材に、分かりやすく説明する内容となっているとのことです。
- 全国の小・中学校、高校にも送付されており、パラスポーツを通じて、子どもたちの共生社会への気づきを促すことのできる教材として、評判を呼んでいると聞いています。
- 研修会の講師には、国際パラリンピック委員会常任委員であり、この教材の開発や普及推進にも携わっている、マセソン美季さんをお招きすることとしております。
- マセソンさんは長野パラリンピックにおいて、アイススレッジスピードレースで金メダル3個、銀メダル1個を獲得されており、パラスポーツの振興に力を入れている本市としても、参考になるお話を聞けるのではないかと思います。
- 今回の研修会では、市内の小・中学校の教職員の皆さんに十分に研鑽を積んでもらい、市内の子どもたちがパラスポーツや障がい者の理解を深め、人権意識の向上ができるよう、学校教育の中で働きかけてもらいたいと考えています。

次に、「春 RUN 漫」しばたジョギング大会 in 加治川桜堤」について

- 4月7日（日）、今年で4回目であり、新発田の春・恒例のイベントとして定着してきた感のある「『春 RUN 漫』しばたジョギング大会 in 加治川桜堤」を開催します。
- 現在の桜堤は、約9kmに渡り桜並木が続いています。今回の大会では、そのうち約6kmを通過するコースとなっています。
- 桜堤の長さは昔ほどではありませんが、雪が残る二王子山を背景に、桜並木の景色を楽しみ、かつて「長堤十里世界一」と言われた「加治川桜堤」に思いを馳せながら、ジョギングをするのも楽しいのではないのでしょうか。
- 去年は、季節外れの降雪があり、残念ながら中止とさせていただきました。

今年こそは、参加者の皆さんには満開の桜を眺めながら、新発田の春の定番イベントを思う存分、楽しんでもらいたいと願っています。

- 今年も、ゴール地点の加治川治水記念公園で、紫雲寺産の食材を使った豚汁やおにぎりのほか、飲食物コーナーで利用できるチケットを配布します。
- 3月8日まで、参加者を募集しています。順位を競う大会ではありませんので、気軽に参加していただきたいと思います。

次に、「図書館でゆるり体操」について

- 中央図書館で企画したユニークなイベントを1つ紹介します。
- 2月22日（金）に、イクネスしばたを会場に、「図書館でゆるり体操」と題し、体操教室を行います。
- 「図書館」で「体操」というと、ミスマッチな感じがしますが、読書で疲れた頭と体をほぐし、全身をぽかぽかと温めてリフレッシュをしてもらおうというものです。
- 当日は、専門の講師が誰にでも簡単にできる体操を指導してくださることです。また、体操教室の開催に合わせ、体操や健康づくりに関する関連図書の展示も行います。
- 読書を楽しむ場所である図書館を、いつもとは視点を変えて、寒い冬を健康に乗り切るために利用するのも楽しいのではないのでしょうか。ぜひ、多くの皆さんにご利用いただきたいと思います。

次に、「^{ア ボ デ}ABODE菅谷 里芋試食会」について

- 菅谷地区では、地元の若手女性が中心となりプロジェクトチーム「^{ア ボ デ}ABODE菅谷」を結成し、地域活性化に取り組んでいます。
- 「食の循環によるまちづくり」の考え方をもとに、菅谷地区・県・市が連携して取り組んでおり、3年間をかけて地区の特性を活かした持続可能な活力ある地域づくりに結び付けることを目的としています。
- 同地区では、具体的な取組の1つとして、地元で昔から伝わる在来種の里

芋をブランド化することを目標にしており、今年度から栽培拡大に向けた調査研究を行っているところです。

- この度、昨秋に収穫した里芋を使って地元の方を対象に試食会を行い、まずは、地元の方に菅谷ならではの食の魅力を改めて知ってもらうために、開催するものであると聞いています。
- これにより、地区のあらゆる世代の方に、菅谷の「食」を発信し、地域の魅力を PR することで、地元を元気にできることを知ってもらいたいという、思いを込めた取組です。
- ぜひ、記事に取り上げていただき、地区の皆さんの地元愛の詰まった、この取組を応援いただきたいと思います。

次に、「新発田市 PR ムービー『おかえり』編」完成披露試写会 & 交流会」について

- この度、新発田市にゆかりがあり、首都圏で活躍する若者たちで組織する「首都圏しばたサポーターズクラブ」の会員が中心となって、PR 動画を作成しました。
- この PR 動画の作成のきっかけは、一昨年 9 月に、私が都内の居酒屋「新発田」を会場に、首都圏しばたサポーターズクラブの若者たちと懇談をする機会を持った際に、参加した会員からの発案があったものです。
- 役者やテレビカメラマンなどの職業経験を持つ会員が、出演者として、また、撮影を担当するなどして、企画から制作まで積極的に関わり、この度、PR 動画が完成しました。
- この動画の完成披露試写会と交流会を、2 月 8 日（金）に都内で開催します。当日は特別ゲストとして、当市出身の落語家 三笑亭夢丸さんにお越しいただき、会をさらに盛り上げていただく予定にしています。
- サポーターズクラブの会員が、会員以外の方にも新発田を離れていても、心のどこかで新発田への思い持ってもらいたい、時には思い出してほしいというような、皆さんの心の中にある郷土愛に働き掛けができればと考え、

制作してくれたものであり、私も大変嬉しく感じているところです。

- ぜひ、首都圏で活躍する多くの若者たちにご覧いただき、新発田のことを思い出すきっかけにしていただけるよう、活用していきたいと考えています。
- なお、この後、記者の皆さんからの質問を受ける前に、少しだけ動画をご覧いただきますし、記者会見終了後には全編にわたり、ご覧いただけるよう準備をしています。ぜひ、感想などもお聞かせいただければと思います。
- ぜひ、東京の本社・支社などにも、このイベントの開催について一報を入れていただき、取材をしていただければ大変ありがたいと思っています。

このほかの情報としては、イクネスしばたを会場として、最近話題の「サバ缶」の話題を交えてお話しいただく「缶詰博士 くろかわはやと 黒川勇人講演会」のほか2件のイベントがあります。

次に、冬をお楽しみいただける話題として、赤谷地域では、「赤谷どんつき祭り」のほか2件の催し、また、月岡温泉では先客万来・商売繁盛を祈願する「どんど祭り」が行われます。加えて、当市ゆかりの堀部安兵衛が縁となり、兵庫県赤穂市産の「かき」を堪能いただける「しばたオイスターバー2019」があります。

さらに、商店街のお店の方が講師となり、専門店ならではの知識や情報を無料で教える講座「しばたまちゼミ」など、今月はたくさん話題があります。

一つでも多く記事に取り上げていただき、新発田を盛り上げていただきたいと思います。